

2022年11月10日

報道関係者各位

慶應義塾

**伝統芸能データベース「Global Jukebox」の公開****—1,026 民族を代表する、5,776 件の音声記録がインタラクティブに利用可能—**

世界中の音楽と伝統芸能の音声記録を検索することができるオンラインツール「Global Jukebox」 (<http://theglobaljukebox.org>)がこの度、一般の方と研究者向けに公開されました。Cultural Equity 協会（アメリカ、ニューヨーク）所属のアナ L.C. ウッド博士、慶應義塾大学環境情報学部（神奈川県藤沢市）パトリック・サベジ准教授のほか、サム・パスモア氏（同大学院 政策・メディア研究科 2021 年度 特任教授）と大穀英雄（同大学院 政策・メディア研究科修士課程）など 17 名からなる研究チームの成果です。

本研究成果は、オープンアクセスのジャーナル誌『PLOS ONE』に 11 月 2 日（現地時間）に掲載されました。



Global Jukebox のウェブサイトイメージ

**1. 本研究のポイント**

- 約 1,000 民族から収集された 5,000 件以上の音声記録とコード化された「カントメトリック」データが利用可能となった
- 統計解析により楽曲の種別は社会構造に相関していることが確認できた（ただし因果関係は依然明らかになっていない）

**2. 研究背景**

Global Jukebox は 1,026 民族の伝統的な楽曲を含むデータセットの上に成り立っています。そのうちの多くは、民族音楽学者アラン・ロマックスによって収集されました。ロマックスは、それぞれの曲を、歌手の数、声色、リズムやメロディーなどの特徴によってカテゴリー化しています。現在、Global Jukebox のデータセットに含まれる 5,776 曲は約 37 種類の特徴に分けられています。

### 3. 研究内容・結果

2017年にGlobal Jukeboxの暫定版がリリースされました。現在、同データベースは誰にでもダウンロードできるようになっています。この度、プレスリリースに先立ち、ウッド博士をはじめとした研究者たちはデータの正確性を保証するため、楽曲の種別や特徴などを含めて、5,776曲のデータを見直し、より精度の高いものにしました。また、呼吸方法や楽器情報など音声記録に関するその他の特徴や、会話の様式のような非音楽的なデータなどを分類した補助的なデータセットもリリースしました。

本研究チームは、Global Jukeboxがほかの研究者に刺激を与え、音楽の伝統や文化の進化に関する多様な異文化調査を可能にすることを期待しています。実際、本研究チームも同データベースを用いて、一つの民族の社会政治の複雑性の度合いと曲の特徴の関係性について調べたところ、両者の間に相関関係があることを発見しました。しかし、そのメカニズムを明らかにするためには、さらなる研究が必要です。

Global Jukeboxを公開するにあたって、本研究チームは同データベースを利用した研究プロジェクトに、文化の公平性を保つように努めました。加えて、全ての楽曲は著作権とその文化継承者の許す範囲内のみ利用可能となっています。

### 4. 今後の展開

本研究チームはデータベースの継続的なメンテナンスを計画しています。例えば、ポリネシアのような、現在データではあまり取り上げられていない民族や地域からの音声記録を追加することも検討しています。

ウッド博士は、「人々にこのデータベースにアクセスしてもらうことが非常に重要です。私の父は、人々にすでに伝承されていない先人の文化に触れることがもっとも大事と考え、実際に曲を聞いて「偉大な伝統」の中にある美しさと歴史の足跡を見つけたいと願っていました。Global Jukeboxはテクニカルなものである一方、誰もが探求できる場所ともなっています。私たちCultural Equity協会の仕事は、もっとたくさんの人々に関わってもらう方法を考えることです」と語っています。

そして、サベジ准教授は次のように述べています。「文化の多様性を理解することに関心のある研究者、伝統を守りたいオリジナルコミュニティのメンバー、世界中の音楽の美しさと多様性についてもっと知りたい一般の人々など、この貴重な音声記録とそれに付随する科学的な価値を、世界中の人々が自由に使えるようにすることに貢献できて光栄です。」

### 5. 特記事項

本研究は以下の支援を受けています。

- ▶ サベジ准教授、サム・パスモア氏、大毅英雄：ヤマハ株式会社、日本学術振興会科学研究費（研究課題/領域番号：19KK0064）および慶應義塾大学による研究助成（慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート、慶應義塾大学SFC研究所、および慶應義塾学事振興資金）
- ▶ Global Jukebox：全米芸術基金、全米人文科学基金、コンコルディア財団、ロック財団、オデッセイプロダクション。

備考：本プレスリリースはPLOS ONEによるプレスリリースに基づく。

#### <原論文情報>

タイトル：The Global Jukebox: A public database of performing arts and culture

著者名：Anna L. C. Wood<sup>1,2\*</sup>, Kathryn R. Kirby<sup>3,4</sup>, Carol R. Ember<sup>5</sup>, Stella Silbert<sup>1</sup>, Sam Passmore<sup>6,7</sup>, Hideo Daikoku<sup>8</sup>, John McBride<sup>9</sup>, Forrestine Paulay<sup>1,10</sup>, Michael J. Flory<sup>11</sup>, John Szinger<sup>1</sup>, Gideon D' Arcangelo<sup>12</sup>, Karen Kohn Bradley<sup>10</sup>, Marco Guarino<sup>13</sup>, Maisa Atayeva<sup>14</sup>, Jesse Rifkin<sup>1</sup>, Violet Baron<sup>15</sup>, Miriam El Hajli<sup>1</sup>, Martin Szinger<sup>1</sup>, Patrick E. Savage<sup>6\*</sup>

\*Corresponding authors

<sup>1</sup> Association for Cultural Equity (ACE), Hunter College, New York City, NY, USA; <sup>2</sup>Centro Studi Alan Lomax, Palermo, Italy; <sup>3</sup>Department of Linguistic and Cultural Evolution, Max Planck Institute for the Science of Human History, Jena, Germany; <sup>4</sup>Department of Ecology and Evolutionary Biology, University of Toronto, Toronto, Canada; <sup>5</sup>Human Relations Area Files at Yale University, New Haven, CT, USA; <sup>6</sup> Faculty of Environment and Information Studies, Keio University, Fujisawa, Japan; <sup>7</sup>Evolution of Cultural Diversity Initiative, School of Culture, History and Language, College of Asia and the Pacific, The Australian National University, Canberra, Australian Capital Territory, Australia; <sup>8</sup>Graduate School of Media and Governance, Keio University, Fujisawa, Japan; <sup>9</sup> Center for Soft & Living Matter, Institute for Basic Science, South Korea; <sup>10</sup> Laban/Bartenieff Institute for Movement Studies, New York, NY, USA; <sup>11</sup>Research Design and Analysis Service, New York State Institute for Basic Research in Developmental Disabilities, Staten Island, NY, USA; <sup>12</sup>Arup, New York, NY, USA; <sup>13</sup>American Studies Program, University of Texas, Austin, Texas, USA; <sup>14</sup>Paul H. Nitze School of Advanced International Studies, Johns Hopkins University, Baltimore, MD, USA; <sup>15</sup>University of Indiana, Folklore & Ethnomusicology, Bloomington, Indiana, USA

掲載誌: PLOS ONE.

<https://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0275469>

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、科学記者会、各社科学部に送信させていただいております。

- 
- 研究内容についてのお問い合わせ先

慶應義塾大学 環境情報学部 准教授 パトリック・サベジ

TEL : 080-6551-4063 E-mail : [psavage@sfc.keio.ac.jp](mailto:psavage@sfc.keio.ac.jp) <http://compmusic.info>

- 本リリースの配信元

慶應義塾広報室 (唐)

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

E-mail: [m-pr@adst.keio.ac.jp](mailto:m-pr@adst.keio.ac.jp) <https://www.keio.ac.jp/ja/>